

DP750/DP720 設定マニュアル（手動設定版）

Ver.1.0.9 2023/04/24
Ver.1.0.8 2020/07/31
Ver.1.0.7 2019/05/26
Ver.1.0.6 2019/03/01
Ver.1.0.5 2017/07/20
Ver.1.0.4 2017/06/27
Ver.1.0.3 2017/06/09
Ver.1.0.2 2017/05/10
Ver.1.0.1 2016/11/22



・目次	P2
・はじめに	P3
・DP750・DP720とは	P4-P5
・LCDディスプレイでの設定項目	P6-P7
・DP750(親機)とDP720(子機)を接続する	P8
・設定方法		
－ファクトリーリセット	P9-P11
－プロフィール	P12-P15
－ DECT	P16-P18
－ ネットワーク設定	P19
－ レジストの確認	P20
・付録: 端末設定のバックアップ	P21
・付録: バックアップの復元方法	P22
・付録: ファームウェアのアップグレード	P23
・安全にお使い頂くために	P24
・故障かな?とおもったら	P25

はじめに

このたびはDP750/720をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用前に必ず本書をお読みになり、お読みになった後はいつでも見られる所に必ず保管して下さい。
当サポートにて各機能を提供しております。お問い合わせは弊社までお願いいたします。

※ 製造元へのお問い合わせはご遠慮ください

最初に付属品 / 添付品が全て揃って入ることを確認して下さい。

- ・ DP750 本体(親機)
- ・ DP720 本体(子機)
- ・ ACアダプタ x2
- ・ バッテリー
- ・ 充電スタンド
- ・ イーサネットケーブル
- ・ ハンドセットベルトクリップ
- ・ Quick Start Guide
- ・ GPL Statement

■免責事項

- ・ 機能・仕様については予告なく変更する事があります。
- ・ お客様及び当社のネットワーク環境により、ノイズ・音の途切れ・不通などの現象が起こる事があります。また、通話品質の保証はいたしません。
- ・ 個人の聴力により通話品質に差が生じた場合について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 日本国外でのご使用に際する障害について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ DP750/DP720は定期的なサーバメンテナンスを行うため、事前の告知なく一時的にサービスが停止する場合があります。
- ・ 商品の故障、誤動作などの要因で電話が使えなかった事による付随的障害については、当社は一切その責任を負いません。

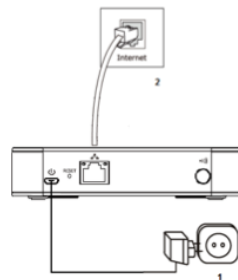
■お手入れ

柔らかい乾いた布で拭いてください。ぬれた雑巾は使用しないでください。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は本体を傷めますので、使用しないでください。科学雑巾をご使用になる時は、科学雑巾に添付の注意書をよくお読みください。

■接続方法

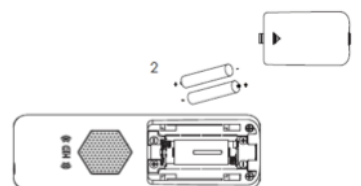
・DP750(親機)

1. ACアダプタを取り付け、コンセントに差し込む
 2. イーサネットケーブルを後側の「LAN」とブロードバンドルーターに差し込む
- ※ 接続の順番は必ず守ってください。ケーブル、アダプタは確実に差し込んでください。
接続してから通話ができるまでには数分かかりますので、しばらくお待ちください。
- ※ PoE対応してます。PoEでの接続の場合はACアダプタは必要ありません。



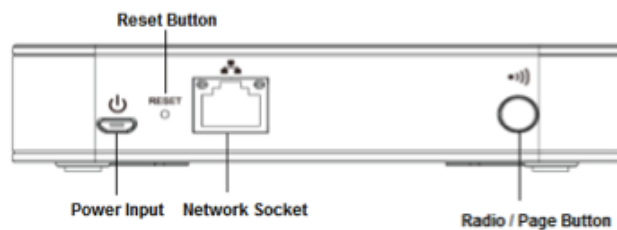
・DP720(子機)

1. DP720(子機)の裏面のフタを外し付属のバッテリーを入れて下さい
 2. 電源を入れ親機との接続を確認して下さい。接続方法は「DP750(親機)とDP720(子機)を接続する」をご参照ください。
- ※ 最初にDP720(子機)を使用する際は、バッテリーを完全に充電してご使用ください。
- ※ DP750(親機)とDP720(子機)の接続ができていないと通話はできません。
「DP750(親機)とDP720(子機)を接続する」をご参照ください。



DP750 / DP720 とは






DP750/DP720とは、当サービスにてお使いいただける電話機です。一般加入電話としてはご利用できません。本製品をご利用いただくためには、インターネットサービスプロバイダーに加入しておく必要があります。ご利用のモデムにブロードバンドルーター機能がない方は、別途ブロードバンドルーターが必要となります。

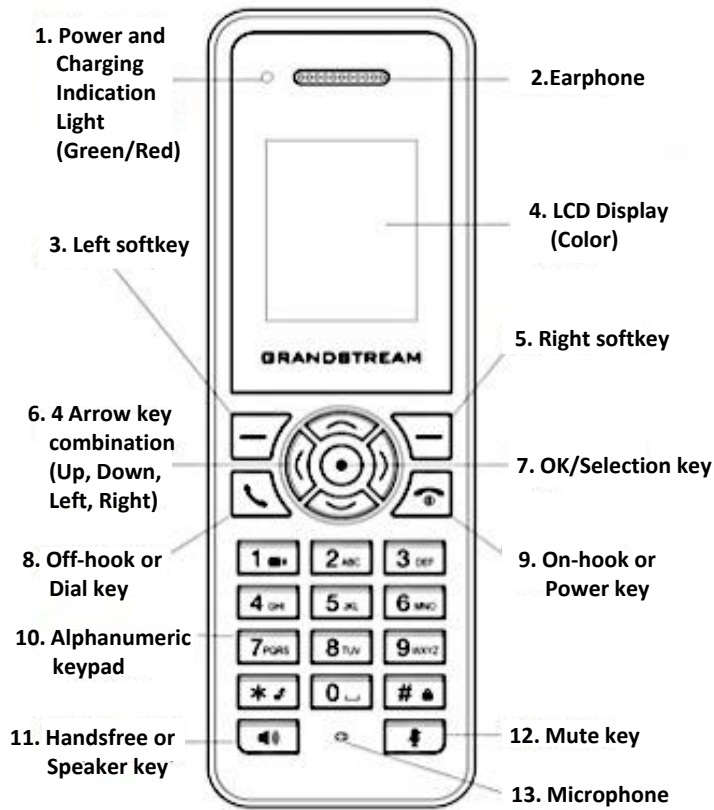


Button

Radio/Page Button	DP720とDP750を接続するためのボタンです。 このボタンを押すとLEDのラジオアイコンが点滅し、接続を試みます。
Reset Button	DP750をリセットします。 ピン等を穴に入れて約7秒間ボタンを押します。再起動後にデフォルトの設定に戻ります。

LED Light

	電源のON / OFFを示します。
	ネットワークへのアクセスを示します。ネットワークにアクセスできていると点灯します。
	SIPアカウントが登録されているかどうかを示します。
	回線の状態を示します。 点滅: 回線が使用中です。点灯: すべての回線が使用されていない状態です。
	DP720とDP750をペアリングの状態を示すラジオアイコンです。 Radio/Page Button を押すと点滅し、ペアリングを試みます。点灯時はペアリングが正常にできている状態です。

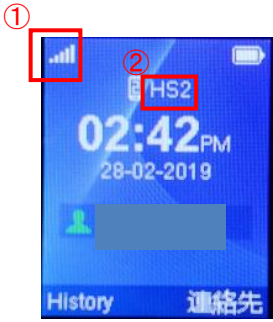


1	Power and Charging Indication Light	赤:充電中。緑:充電が完了しています。 点滅:不在着信または留守番電話が受信されました。
3,5	Left and Right softkeys	LCDに表示されるボタンを操作します。
4	LCD Display	通話情報、端末ステータスアイコン、プロンプトメッセージなどを表示します。
6	4 Arrow key combination	LCDに表示されているカーソルを移動します。
7	OK/Selection key	カーソルで選択されたオプションを選択します。
8	Off-hook / Dial key	着信した電話に出ます。
9	On-hook / Power key	通話を終了するか、電源をオン/オフします。
10	Alphanumeric Keypad	特定アプリケーションで数字、文字、および特殊文字を入力します。 +記号の場合は、キー0を押し続けます。
11	Hands-free / Speaker key	ハンズフリー/スピーカモードに切り替えます。
12	Mute key	ミュート機能を有効または無効にします。

LCDディスプレイでの設定項目

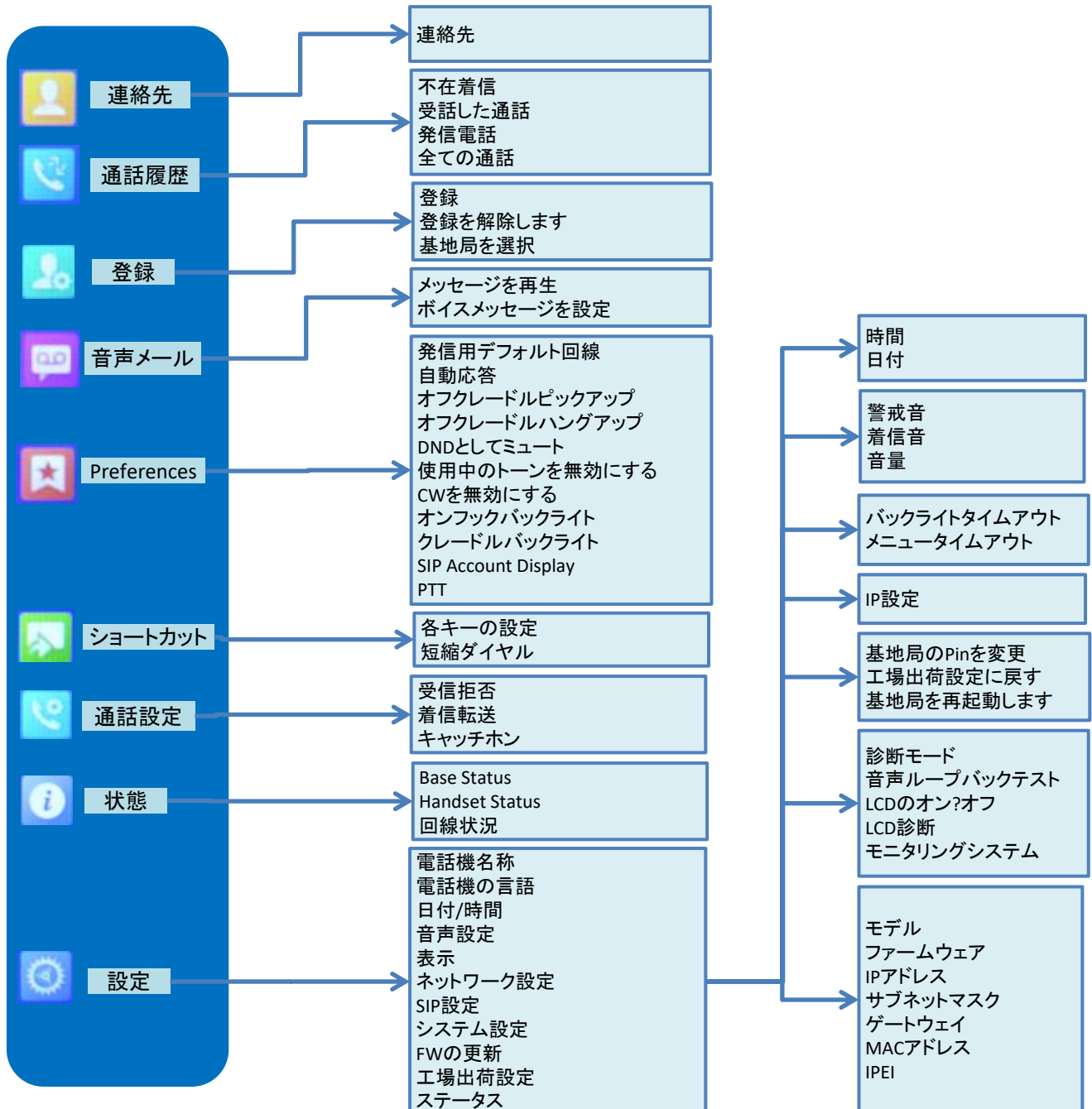
※LCDディスプレイ表記はファームウェアバージョンによって異なる場合がございます

電話機待受画面表記について



- ① DP750(親機)との電波状況を表示します。
- ② DP720(子機)端末に設定されている。電話機名称を表示します。
メニュー>設定>電話機名称 から変更する事が出来ます。

設定メニューフロー



LCDディスプレイでの設定項目


設定メニュー表記説明

連絡先	連絡先を追加、編集、削除、呼び出すことができます。
通話履歴	全ての通話、不在着信、受話済通話、発信通話の通話履歴の確認が出来ます。通話履歴から連絡先を直接共有の連絡先に追加することができます。
登録	DP750(親機)の登録、選択、解除をすることができます。
音声メール	<ul style="list-style-type: none">・メッセージを再生 受信したボイスメールを再生できます。・ボイスメールを設定 ボイスメールの設定を変更できます。・Set Key 1 1キーを指定したアカウントへの留守電短縮ダイヤルとして設定します
Preferences	<ul style="list-style-type: none">・発信用デフォルト回線 デフォルトの発信用回線として使用するアカウントを選択します・自動応答・オフクレードルピックアップ・オンクレードルピックアップ・DNDとしてミュート:有効化の場合、ミュートボタンを押すとDNDとなります・使用中のトーンを無効にする:有効化の場合、話中音の再生をしないようにします・CWトーンを無効にする:有効化の場合、呼び出し中の音を再生しないようにします・オンフックバックライト:有効化の場合、待機画面でオンフックボタンを押すと画面が消灯します・クレードルバックライト:有効化の場合、クレードルに機器を戻した際に画面が消灯します・SIP Account Display・PTT
ショートカット	<ul style="list-style-type: none">・各キーの機能を設定できます・短縮ダイヤルを設定できます
通話設定	<ul style="list-style-type: none">・受信拒否 有効にすると設定された端末での着信ができなくなります。・キャッチホン キャッチホン機能を有効にする事ができます。・着信転送
状態	<ul style="list-style-type: none">・Base Status ファームウェア、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、マックアドレスを表示します・Handset Status モデル(RF)、ファームウェア、IPEIを表示します。・回線状況 アカウント名と状況を表示します
設定	<ul style="list-style-type: none">・電話機名称 端末の名称を変更する事が出来ます。・電話機の言語 電話機のLCDに表示する言語を変更できます。・日付 & 時刻 端末の日付と時刻を設定できます。・音声設定 着信音の変更、および警告音(キーパッド、確認、バッテリー残量低下通知)等の音量を設定できます。・表示 バックライトタイムアウトの秒数を設定できます。・ネットワーク設定 接続しているDP750(親機)のIPアドレス等のネットワーク設定を変更できます。・SIP設定 SIPアカウント設定を構成/表示します。・システム設定 PINコードの変更、工場出荷時のリセット等を実行できます。・FWの更新 端末のファームウェアバージョンをアップグレードします。・工場出荷設定 LED、全てのボタン、スピーカー、ディスプレイ等の動作確認が行なえます。 また、監視システムからRSSIおよびバッテリー電圧情報を確認する事が出来ます。


DP750(親機)とDP720(子機)を接続する

DP750(親機)とDP720(子機)を接続を行いません。

- ① DP750本体後部にあるRadio/Pageボタン  を長押しします。

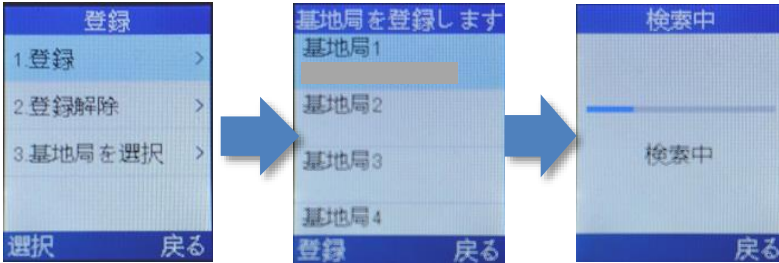
DP750(親機)本体上部にあるLEDのラジオアイコン  が点滅している事を確認したら、Radio/Pageボタンを離して下さい。

- ② DP720(子機)の十字キーの真ん中のボタンを押して、操作メニューを表示します。

矢印キーを押してカーソルを「登録」  に移動し、「選択する」(左ソフトキー)を押します。

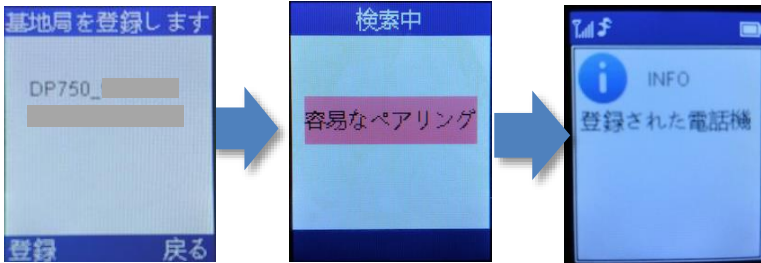


- ③ 「登録」で「選択する」(左ソフトキー)を押すと、基地局の選択画面にいきます。
「基地局1」で「登録」(左ソフトキー)を押すと「検索中」と表示され、DP750(親機)の検索を開始します。




- ④ 検索が終わるとDP750(親機)に設定された「基地局名称」(変更可能)が表示されます。
※デフォルトの基地局名称: "DP750_MACアドレスの下6桁"

「登録」(左ソフトキー)、「容易なペアリング」と画面に表示され、接続が開始されます。
"登録された電話機"と表示されると接続完了になります。



- ⑤ 親子のファームウェアを同一に揃えます。
DP720(子機)の十字キーの真ん中のボタンを押して、操作メニューを表示します。

矢印キーを押してカーソルを「設定」  に移動し、「選択する」(左ソフトキー)を押します。
「FWの更新」に移動し、「選択する」(左ソフトキー)を押します。
更新がある場合はダウンロードが開始します。



設定方法 ～ファクトリーリセット～

① DP750本体のIPアドレスを確認する。

接続が完了したDP720(子機)から確認できます。「メニュー」(十字キー真ん中ボタン)を押して操作メニューを表示します。矢印キーを押してカーソルを「状態」に移動し、「選択する」(左ソフトキー)を押します。「Base Status」に移動し、「選択する」を押すとIPアドレスが記載されています。



② webブラウザから、設定ページを開く。

DP750と同じネットワークに接続されたPCから、インターネットエクスプローラー等webブラウザを起動し、先ほど確認したIPアドレスを、以下のように打ち込みます。

[http://\(IPアドレス\)/](http://(IPアドレス)/) 例: 192.168. 1. 2 の場合、<http://192.168.1.2/>

※ファームウェアバージョンによって画面構成が異なる場合がございます。



Copyright © 2016. All Rights Reserved.

③ 上記画面が表示されますので、ユーザー名、パスワードを入力し、言語を「日本語」に選択して「ログイン」をクリックします。

※機器初期直後のユーザー名、パスワードは「admin」です。

セキュリティ確保のため、手順⑨にて必ず任意のパスワードに変更して下さい。

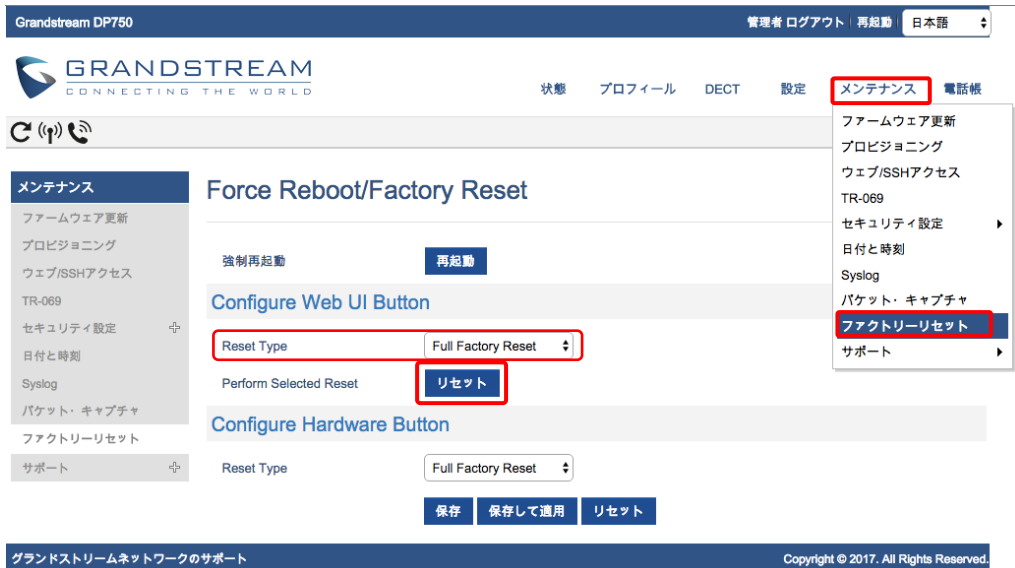
※ログインユーザー名はadminで固定。変更不可となります。

パスワードのデフォルトは本体背面のシールに「Password」と記載されているものになります。

Passwordの記載が無い場合のデフォルトパスワードはadmin またはAdmin12345!となります。

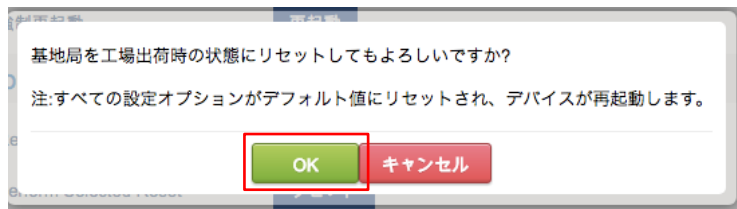
設定方法 ～ファクトリーリセット～

④ 画面上部の[メンテナンス]タブから「ファクトリーリセット」をクリックして下さい。



“Configure Web UI Button” の “Reset Type” : 「Full Factory Reset」を選択します。
画面中央にある「リセット」のボタンをクリックします。

⑤ 画面に以下のようなポップアップが表示されるので、「OK」をクリックして下さい。

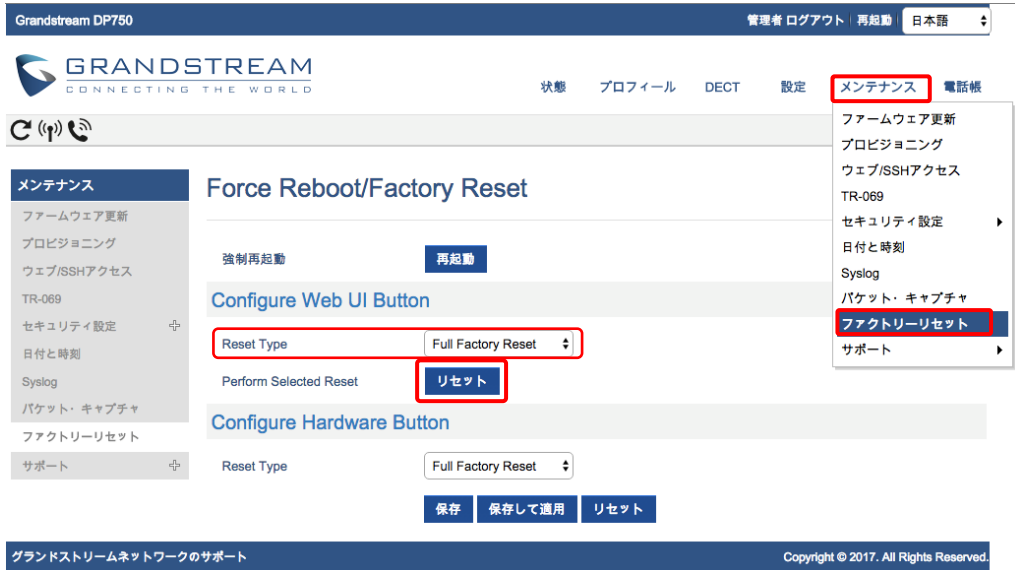


⑥ Factory Reset 完了後、ユーザー名とパスワードを入力し、再度ログインをクリックします。



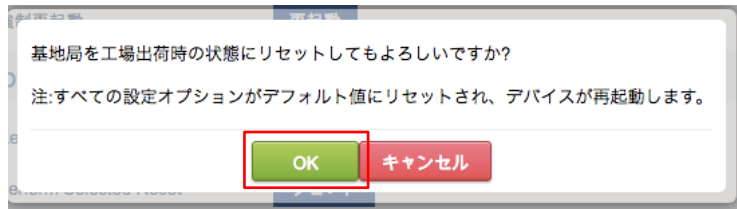
プロビジョニング設定方法

⑦ 画面上部の[メンテナンス]タブから「ファクトリーリセット」をクリックして下さい。



“Configure Web UI Button”の“Reset Type”：「Full Factory Reset」を選択します。
画面中央にある「リセット」のボタンをクリックします。

画面に以下のようなポップアップが表示されるので、「OK」をクリックして下さい。



⑧ Factory Reset 完了後、ユーザー名とパスワードを入力し、再度ログインをクリックします。



※Factory Reset 後のユーザー名、パスワードは「admin」になります。

設定方法 ~プロフィール~

- ⑨ 画面上部「プロフィール」タブの「プロフィール1」をクリックします。
「一般設定」タブをクリックします。

Grandstream DP750 管理者 ログアウト 再起動 日本語

GRANDSTREAM
CONNECTING THE WORLD

状態 プロフィール DECT 設定 メンテナンス 電話帳

バージョン 1.0.7.5

プロフィール 一般設定

プロフィール1

一般設定

プロフィールアクティブ NO YES

プロフィール名 profile1

SIP サーバ ログインサーバ:25060

障害迂回SIPサーバ

プライマリSIPサーバーを推奨する NO YES

アウトバウンドプロキシ ログインサーバ:25060

ボイスメール アクセス番号 999

保存 保存して適用 リセット

Grandstream ネットワークのサポート Copyright © 2019. All Rights Reserved

SIPサーバ: & アウトバウンドプロキシ:お客様管理ページに記載されている**ログインサーバ**を入力し、その後ろに":25060"と入力します。※管理ページに記載されているログインサーバがVoip3XXXの場合は、ログインサーバの後ろの":25060"は入力しないで下さい。

Voice Mail Access Number : 「999」 を入力します。

入力が完了しましたら、「保存して適用」のタブをクリックします。
(2つ目のログインサーバを設定する場合は、「プロフィール2」も「プロフィール1」同様に設定してください)

- ⑩ 画面左部「プロフィール1」タブの「ネットワーク設定」をクリックします。

Grandstream DP750 管理者 ログアウト 再起動 日本語

GRANDSTREAM
CONNECTING THE WORLD

状態 プロフィール DECT 設定 メンテナンス 電話帳

バージョン 1.0.7.5

プロフィール ネットワーク設定

プロフィール1

一般設定

ネットワーク設定

レイヤー3 QoS設定

SIP DiffServ 24

RTP DiffServ 46

DNS設定

DNSモード レコード

プライマリIP

バックアップIP 1

バックアップIP 2

NAT設定

NATトラバース Keep-Alive

NAT IP使用

Proxy-Require

保存 保存して適用 リセット

Copyright © 2016. All Rights Reserved

NATトラバース: **Keep-Alive**を選択します。
入力が完了しましたら「保存して適用」のタブをクリックします。

設定方法 ~プロフィール~

- ⑪ 画面上部にある「プロフィール」タブの「プロフィール1」-「SIP設定」-「基本設定」をクリックします。

The screenshot shows the Grandstream DP750 web interface. The top navigation bar includes 'Grandstream DP750', '管理者 ログアウト', '英語', and '日本語'. The main menu has '状態', 'プロフィール', 'DECT', '設定', 'メンテナンス', and '電話帳'. The left sidebar shows 'プロフィール' with sub-items: 'プロフィール1', '一般設定', 'ネットワーク設定', 'SIP設定', 'セッションタイマー', 'セキュリティ設定', '音声設定', '通話設定', 'プロフィール2', 'プロフィール3', and 'プロフィール4'. The 'SIP設定' sub-item is selected, and the '基本設定' sub-item is highlighted with a red box. The main content area is titled '基本設定' and contains various SIP configuration options. The 'ローカルSIPポート' field is highlighted with a red box and contains the value '50000 50000~60000'. Other fields include 'SIP転送' (radio buttons for UDP, TCP, TLS/TCP), 'SIP接続' (radio buttons for NO, YES), '高低音時に接続を切り直す' (radio buttons for NO, YES), '初期接続時に Auth ヘッダーを追加' (radio buttons for NO, YES), '接続無しの保留' (radio buttons for NO, YES), '接続制限' (input field with value 60), 'SIP接続失敗再試行待ち時間' (input field with value 20), '403異常終了のSIP接続失敗再試行待ち時間' (input field with value 1200), '接続切れ前に再接続する' (input field with value 0), 'ランダムなSIPポートを使用する' (radio buttons for NO, YES), 'ローカルRTPポート' (input field with value 5004), 'Use Random RTP Port' (radio buttons for NO, YES), 'SIP T1 タイムアウト' (dropdown menu with value 0.5 秒), 'SIP T2 タイムアウト' (dropdown menu with value 4 秒), 'SIPタイマーD' (input field with value 0), 'Enable OPTIONS Keep Alive' (radio buttons for NO, YES), 'OPTIONS Keep Alive Interval' (input field with value 30), 'OPTIONS Keep Alive Max Lost' (input field with value 3), 'ルートからSOPBを削除' (radio buttons for NO, YES), 'SIP Instance IDサポート' (radio buttons for NO, YES), '完全前にターゲットを保留する' (radio buttons for NO, YES), '使用するターゲットの優先度を反映する' (radio buttons for NO, YES), 'SUBSCRIBE for MWI' (radio buttons for NO, YES), '100rel有効化' (radio buttons for NO, YES), 'TEL URI' (radio buttons for 無効化, User=phone, 有効化), 'SIP URIの中の%を%23に置換しない' (radio buttons for NO, YES), 'SDPで複数のm図像を無効にする' (radio buttons for NO, YES), 'Privacyヘッダを使用' (radio buttons for デフォルト, NO, YES), 'P-Preferred-Identityヘッダを使用' (radio buttons for デフォルト, NO, YES), 'Ignore Alert-Info header' (radio buttons for NO, YES), and 'Use MAC Header' (radio buttons for NO, Yes except REGISTER, Yes to all SIP). At the bottom, there are buttons for '保存', '保存して適用', and 'リセット'.

ローカルSIPポートに50000~60000のいずれかの数字を入力します。
※重複の無いように、各端末毎に異なるポート番号を割り当てて下さい。

例: 端末Aには50000、端末Bには50001

入力が完了しましたら、「保存して適用」のボタンをクリックします。

設定方法 ～プロフィール～

⑫ 画面左部「アカウント」タブー「SIP設定」ー「セキュリティ設定」をクリックします。

The screenshot shows the Grandstream DP750 web interface. The top navigation bar includes 'Grandstream DP750', '管理者 ログアウト | 再起動 | 日本語', and the Grandstream logo with 'CONNECTING THE WORLD'. The main navigation menu has '状態', 'プロフィール', 'DECT', '設定', 'メンテナンス', and '電話帳'. The left sidebar shows 'プロフィール' with sub-items: 'プロフィール1', '一般設定', 'ネットワーク設定', 'SIP設定', '基本設定', 'セッションタイマー', 'セキュリティ設定', '音戸設定', and '通話設定'. The 'セキュリティ設定' page is displayed, with options: '受信メッセージ有効化' (radio buttons NO/YES), '受信INVITEのSIP ユーザ IDを確認' (radio buttons NO/YES, with YES selected), 'プロキシから受信する SIP のみを許可します' (radio buttons NO/YES), 'INVITE' (radio buttons NO/YES), 'サーバー証明書のドメインを認証する' (radio buttons NO/YES), 'サーバー証明書の階層構造を認証する' (radio buttons NO/YES), and '信頼性のあるCA証明書' (text input field). At the bottom are buttons for '保存', '保存して適用', and 'リセット'. The footer contains 'Grandstreamネットワークのサポート' and 'Copyright © 2019. All Rights Reserved.'.

受信INVITEのSIPユーザIDを確認:「YES」を選択します。
(英語表示の場合は、Check SIP User ID for Incoming INVITE)

入力が完了しましたら「保存して適用」のボタンをクリックします。

設定方法 ~プロフィール~

⑬ 画面上部にある「プロフィール」タブの「プロフィール1」-「音声設定」をクリックします。

Grandstream DP750 管理者 ログアウト | 再起動 | 日本語

GRANDSTREAM
CONNECTING THE WORLD

状態 プロフィール DECT 設定 メンテナンス 電話帳

バージョン 1.0.7.5

プロフィール

- プロフィール1
- 一般設定
- ネットワーク設定
- SIP 設定
- 音声設定
- 通話設定
- プロフィール2
- プロフィール3
- プロフィール4

音声設定

DTMF設定

DTMFを送信する 音声入力 RTP (RFC2833)を介する SIP INFOを介する

DTMFネゴシエーションを無効にする NO YES

DTMF ベイロードタイプ

ボコーダー設定

選択肢 1	<input type="text" value="PCMU"/>
選択肢 2	<input type="text" value="PCMU"/>
選択肢 3	<input type="text" value="PCMU"/>
選択肢 4	<input type="text" value="PCMU"/>
選択肢 5	<input type="text" value="PCMU"/>
選択肢 6	<input type="text" value="PCMU"/>
選択肢 7	<input type="text" value="PCMU"/>
推奨ボコーダー8	<input type="text" value="PCMU"/>

TXごとの音声フレーム

G723レート 6.3kbpsエンコードレート 5.3kbpsエンコードレート

G.726-32 Packingモード ITU IETF

iLBCフレームサイズ 20 ms 30 ms

iLBCベイロードタイプ

SDP内のOPUSステレオを無効にする NO YES

OPUSベイロードタイプ

2000K SDP で最初に一致するボコーダを使用します NO YES

SRTP モード

暗号ライフタイム NO YES

無音抑止 NO YES

ジッター・バッファタイプ

ジッター・バッファ長

音声モニタリング

RTCPを有効にする 無効化 RTCP RTCP-XR

Grandstream ネットワークのサポート Copyright © 2019. All Rights Reserved.

DTMFを送信する:「RTP (RFC2833)を介する」にチェックを付けます。

※ユニーク管理ページでDTMF送信方法をDTMF Inbandに設定された場合は「in-audio」を選択してください。

選択肢1~7、推奨ボコーダー8:「PCMU」を選択します。

※PCMU以外のコーデックを使用する場合も選択肢1~7、推奨ボコーダー8は統一させて下さい。

入力が完了しましたら「保存して適用」のタブをクリックします。

⑮ 画面上部「DECT」タブの「DECTアカウント設定」をクリックします。

Grandstream DP750 管理者 ログアウト | 再起動 | 日本語

GRANDSTREAM
CONNECTING THE WORLD

状態 プロフィール DECT 設定 メンテナンス 電話帳

バージョン 1.0.7.5

DECT

DECT一般設定

DECTアカウント設定

DECT回線設定

電話帳設定

HS1設定

HS2設定

HS3設定

HS4設定

HS5設定

アカウント	SIPユーザーID	認証ID	パスワード	名称	プロフィール	HSモード	アカウント有効
アカウント 1	ユニーク	ユニーク	端末パスワード	名前	プロフィール1	円モード	<input checked="" type="radio"/> YES
アカウント 2					プロフィール1	円モード	<input type="radio"/> YES
アカウント 3					プロフィール1	円モード	<input type="radio"/> YES
アカウント 4					プロフィール1	円モード	<input type="radio"/> YES
アカウント 5					プロフィール1	円モード	<input type="radio"/> YES
アカウント 6					プロフィール1	円モード	<input type="radio"/> YES
アカウント 7					プロフィール1	円モード	<input type="radio"/> YES
アカウント 8					プロフィール1	円モード	<input type="radio"/> YES
アカウント 9					プロフィール1	円モード	<input type="radio"/> YES
アカウント 10					プロフィール1	円モード	<input type="radio"/> YES

保存 保存して適用 リセット

Grandstreamネットワークのサポート Copyright © 2019. All Rights Reserved.

アカウント名:& SIPユーザーID:& 認証ID:ユニーク(10桁の数字)を入力します。

名称:着信した際に表示させたい名前を入力して下さい。

認証パスワード: 端末パスワードを入力します。

もし、管理ページにてユニークの端末パスワードの変更を行った場合は、変更したパスワードを入力します。

プロフィール:先ほど設定したプロフィール1に設定します。

アカウント有効:「YES」に設定します。

入力が完了しましたら、「保存して適用」のタブをクリックします。

(2つ目のユニークを設定する場合は、「アカウント2」も「アカウント1」同様に設定してください)

HS Mode: 複数の端末に同じユニークを設定した際の動作を指定します。

電話機1~5(HS1~HS5) … 特定の子機のみ着信します。

円モード(Circular) … どの子機が最後のコールに応答したかを記録し、ラウンドロビン方式で使用可能な子機に着信します。

線形モード(Linear) … 割り当てられた番号が低い子機から呼出していき、タイムアウトすると次の子機が呼び出されます。

並行モード(Parallel) … すべての子機が同時に呼出音を鳴らします。

1台の子機で使用中でも、残りの使用可能な子機が新しい電話をかけることができます。 ※非推奨

※HS Modeを円モード、線形モード、並行モードで設定した場合キャッチホンは動作しません。

設定方法 ～DECT～

- ⑩ 画面左部「DECT」タブの「DECT回線設定」をクリックします。
先ほど設定したユニークを電話機1のLINE1に設定します。

Grandstream DP750 管理者 ログアウト | 再起動 | 日本語

GRANDSTREAM
CONNECTING THE WORLD

状態 プロフィール DECT 設定 メンテナンス 電話帳

バージョン 1.0.7.5

DECT DECT回線設定

	LINE 1	LINE 2	LINE 3	LINE 4	LINE 5	LINE 6	LINE 7	LINE 8	LINE 9	LINE 10
電話機 1	None	None	None	None	None	None	None	None	None	None
電話機 2	ユニーク	None	None	None	None	None	None	None	None	None
電話機 3	None	None	None	None	None	None	None	None	None	None
電話機 4	None	None	None	None	None	None	None	None	None	None
電話機 5	None	None	None	None	None	None	None	None	None	None

保存 保存して適用 リセット

設定が完了しましたら、「保存して適用」のタブをクリックします。

(2つ目の電話機を設定する場合は、「電話機2」も「電話機1」同様に設定してください)

設定方法 ～ネットワーク設定～

⑪ 画面上部「設定」タブの「ネットワーク設定」-「詳細設定」をクリックします。

The screenshot shows the Grandstream DP750 web interface. At the top, there is a navigation bar with 'Grandstream DP750' on the left and '管理者 ログアウト | 再起動 | 日本語' on the right. Below this is the Grandstream logo and a menu with '状態', 'プロフィール', 'DECT', '設定' (highlighted with a red box), 'メンテナンス', and '電話帳'. A secondary bar shows 'バージョン 1.0.7.5'. On the left side, there is a sidebar menu with '設定' (highlighted) and sub-items: 'ネットワーク設定' (highlighted), '基本設定', '詳細設定' (highlighted), 'OpenVPN 設定', 'External Service', '発信音', and 'システム機能'. The main content area is titled '詳細設定' and contains several sections: 1. '802.1Xモード' set to '無効'. 2. '認証ID' and 'MD5パスワード' input fields. 3. '802.1X CA 認証' and '802.1X クライアント認証' sections, each with 'アップロード' and '削除' buttons. 4. 'LLDP を有効にする' section with radio buttons for '有効化' and '無効化' (selected). 5. 'レイヤー2 QoS設定' section with radio buttons for '有効化' and '無効化' (selected), and input fields for 'レイヤー2 QoS 802.1Q/VLANタグ', 'SIPシグナリング用のレイヤー2 QoS 802.1p優先値', and 'RTPメディア用のレイヤー2 QoS 802.1p優先値', all set to '0'. 6. 'STUN設定' section with 'STUN使用する' set to 'NO' (selected), 'STUN サーバ' input field, '許容されるSTUN応答失敗数' set to '3', and 'keep-alive 期間' set to '20'. 7. 'UPnP検出の設定' section with radio buttons for 'NO' and 'YES' (selected), and 'UPnP検出通知間隔' set to '30'. At the bottom of this section are buttons for '保存', '保存して適用' (highlighted with a red box), and 'リセット'.

グランドストリームネットワークのサポート

Copyright © 2019. All Rights Reserved.

STUNを使用する: 「NO」を選択します。

keep-alive 期間: 「20」と入力します。

入力が完了しましたら、「保存して適用」のボタンをクリックします。

設定方法 ～ネットワーク設定～

⑩ 画面上部「メンテナンス」タブの「日付と時刻」をクリックします。

Grandstream DP750 管理者 ログアウト | 再起動 | 日本語

GRANDSTREAM
CONNECTING THE WORLD

状態 プロフィール DECT 設定 メンテナンス 電話帳

バージョン 1.0.7.5

メンテナンス

- ファームウェア更新
- プロビジョニング
- ウェブ/SSHアクセス
- TR-069
- セキュリティ設定
- 日付と時刻
- Syslog
- パケット・キャプチャ
- ファクトリリセット
- サポート

日付と時刻

NTP サーバ: ntp.jst.mfeed.ad.jp

NTP更新間隔: 60

NTPサーバーにDHCPオプション42を可能にする: NO YES

タイムゾーン: GMT+09:00 (日本, 韓国, ヤクーツク)

ユーザー定義タイムゾーン: MTZ+6MDT+5,M3.2.0,M11.1.0

タイムゾーンを優先するために、DHCPオプション2を有効にする: NO YES

保存 保存して適用 リセット

グランドストリームネットワークのサポート Copyright © 2019. All Rights Reserved.

NTPサーバ:「ntp.jst.mfeed.ad.jp」を入力します。
タイムゾーン:[GMT+09:00(日本、韓国、ヤクーツク)]を選択します。
入力が完了しましたら「保存して適用」のタブをクリックします。

⑪ 画面上部「メンテナンス」タブの「Web SSHアクセス」をクリックします。

Grandstream DP750 管理者 ログアウト | 再起動 | 日本語

GRANDSTREAM
CONNECTING THE WORLD

状態 プロフィール DECT 設定 メンテナンス 電話帳

バージョン 1.0.7.5

メンテナンス

- ファームウェア更新
- プロビジョニング
- ウェブ/SSHアクセス
- TR-069
- セキュリティ設定
- 日付と時刻
- Syslog
- パケット・キャプチャ
- ファクトリリセット
- サポート

ウェブ/SSHアクセス

ユーザー パスワード

新しいパスワード: []

パスワードの確認: []

管理者パスワード

新しいパスワード: []

パスワードの確認: []

アクセス制御リスト

WAN側のホワイトリスト: []

WAN側のブラックリスト: []

保存 保存して適用 リセット

グランドストリームネットワークのサポート Copyright © 2019. All Rights Reserved.

現在のパスワード:「現在のパスワード」を入力します。
新しいパスワード:「任意のパスワード」を入力します。
パスワードの確認:「新しいパスワード」を再度入力します。
※設定ページにログインする際のパスワードになります。機器を初期化した直後の初期パスワードは全機器共通になりますのでセキュリティ確保のためお客様にて推測されにくいパスワードを設定して下さい。
※パスワードはお忘れにならないようお願い致します。

入力が完了しましたら「保存して適用」のタブをクリックします。


設定方法 ～レジストの確認～


⑩ 端末のレジスト(登録)を確認します

webブラウザから、お客様管理ページを開きます。
画面上部の「各種設定」から「ユニーク一覧」をクリックします。

解約	解約取消	詳細	ユニーク▲▼	状態	名称▲▼	所属▲▼	ブックアップグループ	着信			発信			U種別▲▼	備考
								内線	電話番号	種別	内線	電話番号	種別		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		0000888888	✓			Default	200	-	-	200	-	-	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		0000999999	✗			Default	201	-	-	201	-	-	<input type="checkbox"/>	

上のような画面が表示されるので、対象ユニークの「状態」のマークを確認します。

 …レジスト(登録)ができています。

 …レジスト(登録)が失敗しています。クリックすると失敗のステータスを確認することができます。

レジストができていた状態になったら、設定完了になります。

※レジストが失敗している場合、端末に入力したユニーク、端末パスワード等に間違いがないかご確認ください。

付録: 端末設定のバックアップ

端末を初期化する際などに設定のバックアップをしたい場合は以下の手順を行って下さい。

① 画面上部「メンテナンス」タブの「プロビジョニング」をクリックします。

The screenshot shows the Grandstream DP750 web interface. At the top, there is a navigation bar with 'メンテナンス' (Maintenance) and '電話帳' (Address Book) tabs. The 'メンテナンス' menu is open, showing options like 'ファームウェア更新' (Firmware Update), 'プロビジョニング' (Provisioning), 'ウェブ/SSHアクセス' (Web/SSH Access), 'TR-069', 'セキュリティ設定' (Security Settings), '日付と時刻' (Date and Time), 'Syslog', 'パケット・キャプチャ' (Packet Capture), 'ファクトリーリセット' (Factory Reset), and 'サポート' (Support). The 'プロビジョニング' (Provisioning) page is active, showing fields for XML設定ファイルパスワード, HTTP/HTTPSユーザー名, HTTP/HTTPSパスワード, and options for HTTP basic authentication and provisioning methods (TFTP, HTTP, HTTPS). Below this, there are sections for 'デバイス構成をアップロードする' (Upload device configuration), 'デバイス設定ダウンロード' (Download device settings), and 'バックアップ構成' (Backup configuration). The 'デバイス設定ダウンロード' section has a red box around the links for 'デバイス構成 (テキスト)' (Device configuration (Text)) and 'デバイス構成 (XML)' (Device configuration (XML)). The 'バックアップ構成' section shows a green bar indicating 'NONE' backup configuration.

デバイス設定ダウンロード : 「**デバイス設定ダウンロード**」のリンクをクリックします。

デバイス構成(テキスト) …テキストファイル形式でバックアップファイルをダウンロードできます。
デバイス構成(XML) …XMLファイル形式でバックアップファイルをダウンロードできます。

バックアップファイルのダウンロードが始まります。デフォルトだと「config.txt /config.xml」がファイル名になります。

※ダウンロードしたバックアップファイル(config.txt /config.xml)にはSIPアカウントのパスワードは含まれていません。
復元する際に再度パスワードの入力が必要になります。

付録: バックアップの復元方法

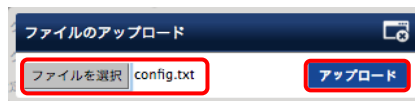
バックアップファイルを復元させる場合は以下の手順を行って下さい。

- ① 画面右上「メンテナンス」タブの「プロビジョニング」をクリックします。

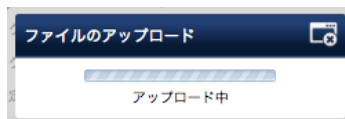
The screenshot shows the Grandstream DP750 web interface. The top navigation bar includes 'メンテナンス' (Maintenance) and '電話帳' (Phonebook). The 'メンテナンス' menu is expanded, showing 'ファームウェア更新' (Firmware Update), 'プロビジョニング' (Provisioning), 'ウェブ/SSHアクセス' (Web/SSH Access), 'TR-069' (TR-069), 'セキュリティ設定' (Security Settings), '日付と時刻' (Date and Time), 'Syslog' (Syslog), 'パケット・キャプチャ' (Packet Capture), 'ファクトリーリセット' (Factory Reset), and 'サポート' (Support). The 'プロビジョニング' (Provisioning) page is displayed, with the 'デバイス構成をアップロードする' (Upload Device Configuration) section highlighted by a red box. This section contains a text input field for the device configuration file, an 'アップロード' (Upload) button, and a 'デバイス構成をアップロードする' (Upload Device Configuration) label. Below this, the 'デバイス設定ダウンロード' (Download Device Settings) section is visible, with options for 'テキスト' (Text) and 'XML' (XML) formats. The 'バックアップ構成' (Backup Configuration) section shows the current backup status as 'NONE' and includes buttons for 'バックアップ設定' (Backup Settings), '保存' (Save), '保存して適用' (Save and Apply), and 'リセット' (Reset).

デバイス構成をアップロードする : 「アップロード」をクリックします。

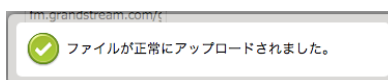
- ② 下のようなポップアップが表示されますので、「**ファイルを選択**」バックアップファイルを選択します。
バックアップファイルを選択したら、「**アップロード**」のボタンをクリックします。



- ③ バックアップファイルのアップロードが始まります。
※ダイアログを閉じてしまうとアップロードがキャンセルされますので画面はできるだけ動かさずにしばらくお待ちください。



- ④ 「ファイルが正常にアップロードされました。」と表示されたら、アップロード完了です。



- ⑤ バックアップファイルには、SIPアカウントのパスワードが含まれていません再度パスワードの入力が必要になります。
17ページの手順 ⑮ を参考に端末パスワードを入力して下さい。

付録:ファームウェアのアップグレード

ファームウェアのバージョンアップを行なう場合は以下の手順で行なって下さい。

- ① ファームウェアのバージョンアップをします。
メンテナンスタブからファームウェア更新をクリックします。

The screenshot shows the Grandstream DP750 web interface. The 'メンテナンス' (Maintenance) tab is selected. The 'ファームウェア更新' (Firmware Update) page is displayed. The '基本ファームウェア' (Basic Firmware) section contains the following settings:

- ファームウェア更新:** 新しいファームウェアを常に確認
 接続/接続文字異なる場合のみ新しいファームウェアを確認
 常にファームウェア確認をスキップする
- HTTP/HTTPSユーザ名:** []
- HTTP/HTTPS パスワード:** []
- HTTP基本認証情報を常時送信する:** NO YES
- HTTPを使用する場合、ホストを検証する:** NO YES
- 以下を介して更新:** TFTP HTTP HTTPS
- ファームウェアサーバパス:** firmware.grandstream.com
- ファームウェアファイル接続文字:** []
- ファームウェアファイル接続文字:** []
- DHCP オプション43とオプション66によるサーバ設定を許可:** NO YES
- 自動アップグレード:** Yes, check for upgrade at random every 1 day(s)
 はい、毎 10080 分
 はい、毎日アップグレードを確認します。
 はい、毎週アップグレードを確認します。
- Random Interval Start Time:** 1 : 1
- Random Interval Stop Time:** 1 : 1
- チェックする時刻(0-23):** 1
- チェックする曜日(0-6):** 1
- ファームウェアキー:** []

The '電話機ファームウェア' (Phone Firmware) section contains:

- 自動アップグレード:** NO YES
- Buttons:** 保存 (Save), 保存して適用 (Save and Apply), リセット (Reset)

- ファームウェア更新とプロビジョニング:「新しいファームウェアを常に確認」を選択します。
Firmware 以下を介して更新:「HTTP」を選択します。
ファームウェアサーバパス:「firmware.grandstream.com」を入力します。
自動アップグレード:「はい、毎週アップグレードを確認します。」を選択します。
自動アップグレード:「Yes」を選択します。



入力が終わりましたら最下部の「保存して適用」をクリックします。











画面上部の「再起動」をクリックします。再起動が完了後、しばらくすると電話機のディスプレイにファームウェアのアップグレード確認画面が表示されるので「はい」を選択します。何もボタンを押さない場合、自動的にアップグレードが開始されます。








※ファームウェアのアップデートには数分かかりますので、電源の抜き差しや端末の操作等はお控え下さい。
アップデートがうまくいかない場合は、一度初期化してから再度アップデートをかけて下さい。
初期化方法は当マニュアルに記載されていますのでそちらをご確認下さい。

安全にお使い頂くために

本書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。
 注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

 警告	この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容を示しています。

 警告	
	煙が出たり、変なにおいがするときは電話機コードを抜く そのまま使用すると、火災や事故の原因となります。お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
	分解・改造しない 火災・感電・故障の原因となります。
	開口部から金属類を差し込んだり、落とし込んだりしない 万一、入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
	内部に水や異物を入れない 水や異物を入れると、火災・感電の原因となります。万一、水や異物が入った時は、電話機のコードを抜き、販売店に連絡してください。
	故障や異常状態のまま使用しない 火災・感電の原因となります。
	雷が発生したときは、本機に触れない 感電の原因となります。
	風呂やシャワー室では使用しない 火災・感電・故障の原因となります。
	本機の上や近くには水などの入った容器や小さな金属物を置かない こぼれたり、中に入ったりすると火災・感電・故障の原因となります。
	水などで濡らさない 本機は生活防水タイプではありません。万一、内部に水などが入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

 注意	
	調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたる場所に置かない 火災・感電・故障の原因となることがあります。
	直射日光の当たるところに置かない 内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
	湿気やほこりの多いところに置かない 火災・感電・故障の原因となることがあります。
	極端に寒いところや急激な温度変化のあるところに置かない 故障の原因となることがあります。
	不安定な場所や振動の多いところに置かない 落ちたり、倒れたりすると、けが・故障の原因となることがあります。
	受話器の受話部に吸着物がないか確認してから使う 受話器の受話部の磁石に、画鋲やピン、ホチキスなどの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。

故障かな？と思ったら

修理・交換を依頼する前にもう一度下記の表をご確認ください。

それでも具合の悪いときは、弊社まで、お問い合わせください。

症状	原因	処置
障害全般	電源ケーブルの抜き差しをお願いします。（数回行ってください） 電源ケーブルを抜いてから再度接続するまでは、1分以上お待ちください。 上記を行っていただいても改善されない場合は、弊社サポートまで、 ご利用のルーターのメーカー・名称・商品番号及びブロードバンド環境をご連絡ください。	
呼び出し音が鳴らない	イーサネットケーブルがはずれていませんか。	イーサネットケーブルの接続を確認してください。
	ACアダプタがはずれていませんか。	ACアダプタの接続を確認してください。
	呼び出し音量の設定を変更しましたか。	Volumeボタンで音量を調節してください。
	ディスプレイに表示される設定を変更しましたか。	変更した設定を元に戻すか、イーサネットケーブルを抜き差し(再起動)してください。
通話が途切れる ノイズが入る	ネットワーク環境に異常はありませんか。	ネットワーク環境を確認し、問題箇所を修復してください。

●初期化方法

ファームウェアが初期化されます。アップデート方法は必ず、弊社サポートまでお問い合わせください。

初期化作業を行うと設定されたデータが全て消去されます。

初期化作業後はご利用のサービスに必要な情報を再度設定する必要があります。

DP750

1. DP750の後部の穴にリセットボタンがあることを確認します。
 2. この穴にピン等を挿入し、約7秒間押し続けます。
 3. 自動的に再起動が実行され、設定が初期化されます。
- Web画面からの初期化方法は「ファクトリーリセット」をご覧ください。

DP720

1. 「メニュー」(左ソフトキー)を押して操作メニューを表示します。
2. 矢印キーを押してカーソルを「設定」に移動し、「選択する」(左ソフトキー)を押します。
3. システム設定 > 工場出荷時に戻す に移動すると、警告ウィンドウが表示されます。
4. 「YES」(左のソフトキー)を押して確定し、自動的に再起動が実行され、設定が初期化されます。

●その他の設定

デフォルトの設定ではキャッチは有効になっています。

キャッチを無効にする場合は、画面上部にある「プロフィール」タブの「プロフィール1」「通話設定」をクリックします。

通話中着信と発信者番号を無効にするをYESにしてください。